

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 256通信
 R3年12月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目1 1 3 〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

登録家政婦、介護スタッフ、看護師大募集♪

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
6	5	5	6	5	5

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 14名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 13名)

☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

《12月行事予定》

20日 避難訓練
 30日 餅つき
 31日 大晦日

※少しずつ外出等は行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。
 ※今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業に関するお知らせ》

・打太鼓 → 休止中
 ・コーラス → 休止中
 ・ナイス・キッズ (学童・託児)
 →令和3年度:受け入れ休止中
 ・喫茶てのひら
 →時短営業(9:00-12:30)
 ※10名までの人数制限中
 ・鍼灸てのひら治療院
 →感染拡大を鑑みて営業休止中。
 ・酸素BOX → 予約可
 詳細はお問い合わせ下さい。



～年末年始営業のお知らせ～

年末年始の営業日をご確認ください。

★暮らしサポート サポート・ワン : 年末年始休みなし

[ただし、割増期間(12/26-1/5)となります。]

★ナイス・ケア:12/29～1/3 お休み

[ただし、日常生活に支障がある場合は要相談にて対応を検討。]

★ナイス・デイ:12/31～1/3 お休み

★ナイス・ホーム:年末年始休みなし

★愛宕の家:年末年始休みなし

★喫茶てのひら:12/31～1/3 お休み

目で見て感じる/愛宕の家



12月に入りクリスマスが近づくと、愛宕の家でも少しばかりですがリース等の飾りつけをします。

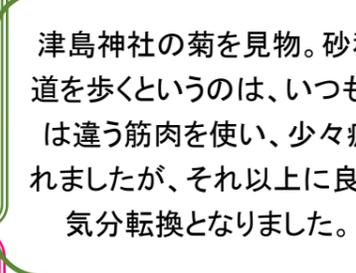
今年は、頂き物のクリスマスツリーがあるので、早速飾ってみることにしました。出してみると、これが意外に大きい！愛宕の家の女性入居者さんほぼ総出で飾りつけをします。ノリノリで積極的な方もいれば、最初は冷めた感じで見ていた方も、途中から盛り上がり誘発され、楽しそうに飾ってみえました。皆でワイワイしながら飾り付けると、あっという間に、豪華なツリーが出来上がりました。

大きなクリスマスツリーは皆が通る通路の横に置きました。そこは、ベッドで寝て過ごすことが多いAさんの居室の前でもあります。ちょうど寝ている目線の先です。Aさんに「見えますかー？」と聞くと、「見える見える」と頷かれています。

皆さんに1か月間眺めてもらって、クリスマスを感じていただきたいです。次はお正月、何を飾りましょう。(K・T)



近くの神社へ。
 銀杏の紅葉があり、今年もあとわずか。年明けに、みんなで初詣しましょうね。



津島神社の菊を見物。砂利道を歩くというのは、いつもとは違う筋肉を使い、少々疲れましたが、それ以上に良い気分転換となりました。



今年お世話になった方々へ
 来年のカレンダーをご用意。
 お手伝い感謝します♪



今年一年を振り返る/SOS

『どう生きるか・・・』

『その生き方を選択するのであれば本人や家族、そして私たちは何を覚悟しないといけないか』

こんなことを考えることが多かった一年でした。正解か不正解かも分からない答えと一緒に考え、選択しながら、不安を抱えながらも覚悟を決め、家族も含めて一緒に進むこと。一人一人個性があり、一人一人色々な背景があり、その一人一人と私達はどうか関わられるのか。

コロナウイルスの感染により、人と人の交流が減りました。ただ、実際にはこのコロナにより”生きるために何を(場所、人、サービス等)選ぶのか”。そう深く一緒に考える機会が多かったのかもしれない。

人は正解を求めているわけではないと思うのです。一方的な正解、押し付けではなく、不正解も含め何を選択して、形にしていくかを一緒に考えられる空間を求めているような気がします。あまりにも、その空間や時間が少ないのかもしれない。でも、その空間や時間は誰にも元気な時から必要だと思っています。

来年の目標。それは、このS・O・Sから、“この地域での生き方の選択”の力になればと、情報発信をできたらいいなと思っています。”自分で、家族で、地域で、“《生き方》を考えられる場所を作りたいです。(M・T)

望む最期の在り方に寄り添う/ナイス・ケア

Bさんは、ご自宅で最期を迎えられました。

「家で死にたい。でもよ、その時にならんと分らん。」と言ってみえました。その時、どんな気持ちだったのだろうと考えさせられますが、それでも自分の思いを突き通されたのではないかと受け止めています。

動くことで呼吸が苦しくなる持病がありました。その呼吸の苦しきからか、「もう少ししたら病院に入院する」と何度も言ってみえました。ベッドの足元にはいつでも入院できる準備をした紙袋。そして、手元にはいつも携帯がありました。

呼吸の苦しきがある中、“お風呂に入りたい”という希望がありました。そこで看護師資格のある管理者が訪問。しかし、呼吸の状態から「今までも息が苦しくて恐怖感を体験されていないか。もし入浴するとなると、どんな方法で入浴しても相当苦しくなる。だからベッド上で洗髪や髭剃りではどうだろう。」と相談しました。Bさんの返答は、「あの恐怖を分かってくれるか。」と安堵したような表情で入浴しないことを受け入れてくれました。

呼吸状態をみながら洗髪、髭剃り。苦しくなるから、休み休みです。呼吸のリズムに合わせてヘルパー2人体制で、直接的なケアをするスタッフと間接的に準備や補助、片付けをするスタッフと役割を分け、静かに動きます。あまりに苦しいと”苦しいから動かないでくれ”という言葉もありました。それ程に苦しい様子を毎日見てきました。

Bさんは最期まで自身の気持ちを言葉でヘルパーに訴え続けました。言葉で伝えなくても手となり足となりたかったのがヘルパーとしての本音です。でも、今になってふと思ひ返します。Bさんにとって、言葉で伝える苦しさや自分のペースを変えられることの辛さを体で感じていたからこそ、病院を選ばず、苦しくても自分のペースを守れる空間を選んだのかもしれない。

Bさん、ありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。(Y・O)

《編集後記》今年も一年、通信に目をとめて頂きありがとうございました。各事業所の日々の様子や、日頃の迷いや思い、感謝の気持ちが少しでもお伝えできていれば幸いです。そして、地域との協働、必要とされる拠点となるためにどのような事業所であるべきか。今後共、皆様の温かいご支援、ご意見を頂けると嬉しいです。良いお年をお迎え下さい。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

12月の発送部数 89部